

消滅型有機残渣処理システム



過去にない独自の処理方法

私達は「完全消滅」を目標に過去においてバイオ菌体を使用した様々な物質の消滅実験を行ってきました。

ハム工場から出る残渣、イカの内臓、ホタテの内臓、バカ貝の内臓、等の水産加工残渣、コーヒー粕、野菜クズ、鳥の内臓、等の飲食店残渣、更には牛や豚の糞尿、内臓汚泥などなどです。

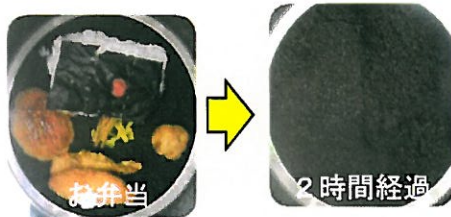
これらはバイオ菌体により見事に消滅処理され、悪臭も押さえられると言う満足の行く成果が得られました。

バイオ菌体とは、生ゴミ等の有機残渣を処理する微生物（バクテリア）の中から優れた能力を持つ微生物を抽出し、組合わせた微生物群です。

このバイオ菌体により分解出来るものは全て炭酸ガスと水蒸気などに分解されて排出されます。

ゴミの消滅実験

厄介なお米の消滅



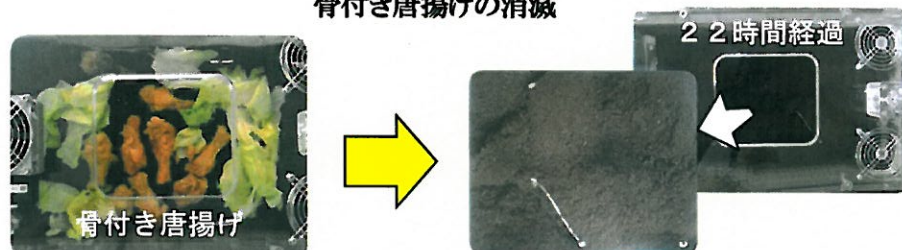
ホタテ内臓と生ゴミの消滅



物脂肪 500g の動物の消滅



骨付き唐揚げの消滅



消滅型有機残渣処理システムの特徴

1. 環境改善

- ・乾燥や焼却しないのでCO₂やダイオキシンを発生しない
- ・残存物の処理が不要
- ・下水に排出する必要がない
- ・悪臭を抑える

2. コスト削減

- ・乾燥や焼却での化石燃料の大量使用はない
- ・処理物の発酵分解による熱を利用
- ・最終残渣や焼却灰の処理費用が不要
- ・上下水道工事が不要

3. メンテナンスフリー

- ・生ゴミや有機残渣を投入するだけ
- ・バイオ菌体（粉末）の投入は週に一度だけ
- ・菌床の交換は原則として年1~2回
- ・残存物の処理や水抜きの手間がない

4. その他

- ・自社設備内処理なので、産廃処理業許可が不要
- ・食品リサイクル法による食品廃棄物の再利用量にカウント可能

既存のゴミ処理システム

1. 生ゴミ1トンを焼却するのに生ゴミと可燃物を混ぜて焼却しても100リットルの石油を使用
2. バイオ燃料として利用しても最終残渣は発生、焼却しなければならない
3. 焼却によりCO₂やダイオキシンが発生する
4. 乾燥堆肥を作るシステムもあるが、上記に匹敵する熱量が必要、また乾燥堆肥は土中で窒素分を吸収し植物の生育不全の元凶になる。
5. 嫌気性菌を使用したBIO式は、悪臭がひどく、最終残渣を堆肥に使用する場合二次処理が必要

処理できる物と出来ない物

- 処理できる物（基本的には人間がそしゃくして消化できる物）
穀類、野菜、果物、肉片、魚介類、油脂類、加工食品、動物の内臓や血液など
- 処理できない物
貝殻、牛豚鶏などの骨、種子類、ゴム、プラスチック、ビニール類、金属、石、ガラス、木、布、紙、食器類、有機溶剤など



消滅型有機残渣処理システムの標準仕様

処理対象物	生ゴミを含む有機残渣			
処理形式	バイオ菌体による分解処理 ※ バイオ菌体は毎週一回は必ず投入します ※ バイオ菌体を投入しないと処理できなくなります			
使用バイオ材	おが粉 もみ殻			
菌床	原則として初回のみ必要です ※ 規定量を超えて残渣等を投入した場合、菌床の交換が必要となる場合があります ※ 一週間に一度のバイオ菌体の投入を怠った場合も同様です			
	必要量			
	50 k g 処理機	0.5 m ³	300 k g 処理機	3.0 m ³
	100 k g 処理機	1.0 m ³	500 k g 処理機	5.0 m ³
	200 k g 処理機	2.0 m ³	1000 k g 処理機	10.0 m ³
1日の処理能力	50kg・100kg・200kg・300kg・500kg・1000kg ※上記6種類の処理機の何れかで処理することになります			
残渣投入方法	手で投入、コンベアーで投入、リフトで投入 残渣投入温度：プラスの常温 ※コンベアーとリフトはオプションです			
残渣の排出	基本的に残渣の排出作業は必要ありませんが、処理物により排出を必要とする場合もございます。詳しくは、残渣消滅処理実験を行って判明します			

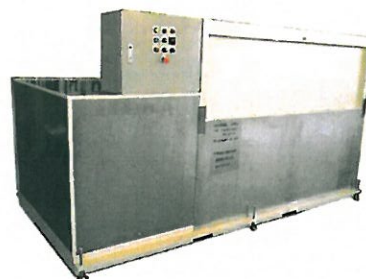
消滅型有機残渣処理装置の LINE UP

機種名	単位/cm.			単位/kg	
	幅	長さ	高さ	処理機重量	菌床
KID- 50	120	300	140	1,500	225
KID- 100	160	350	160	2,500	450
KID- 200	160	420	160	3,300	900
KID- 300	180	420	200	4,100	1,350
KID- 500	200	600	210	6,200	2,250
KID-1000	250	710	250	8,800	4,500

仕様及びサイズは予告なしに変更することがあります



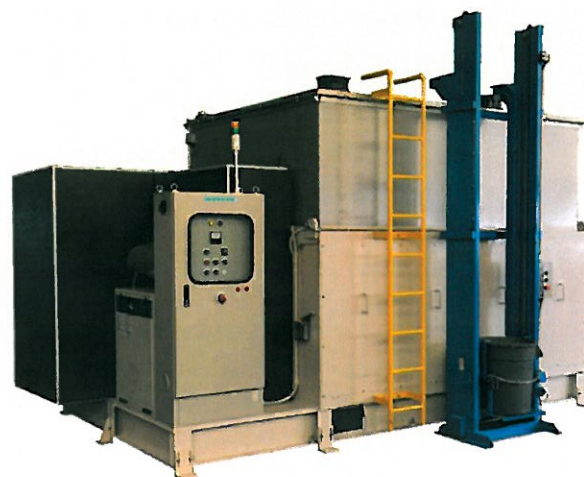
TEG-100



TEG-200



TEG-500



TEG-1000

消滅型有機残渣処理装置の標準

攪拌機	攪拌方式（3～5回転/毎分） ※標準以外の装置及び安全対策は、オプションとさせていただきます																					
処理槽の材質	ステンレス																					
定格電圧	三相200V（50Hz/60Hz）																					
最大消費電力 （除オプション）	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: left;">機名</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">※KID-の後に付く数字が一日の処理可能量（単位：kg/日）</td> </tr> <tr> <td>KDI- 50</td> <td style="text-align: center;">2.20kw</td> <td style="text-align: center;">10.4A</td> </tr> <tr> <td>KDI- 100</td> <td style="text-align: center;">3.70Kw</td> <td style="text-align: center;">16.6A</td> </tr> <tr> <td>KDI- 200</td> <td style="text-align: center;">5.50Kw</td> <td style="text-align: center;">24.4A</td> </tr> <tr> <td>KDI- 300</td> <td style="text-align: center;">7.50Kw</td> <td style="text-align: center;">33.5A</td> </tr> <tr> <td>KDI- 500</td> <td style="text-align: center;">15.00Kw</td> <td style="text-align: center;">64.4A</td> </tr> <tr> <td>KDI-1000</td> <td style="text-align: center;">18.50Kw</td> <td style="text-align: center;">86.0A</td> </tr> </table>	機名	※KID-の後に付く数字が一日の処理可能量（単位：kg/日）		KDI- 50	2.20kw	10.4A	KDI- 100	3.70Kw	16.6A	KDI- 200	5.50Kw	24.4A	KDI- 300	7.50Kw	33.5A	KDI- 500	15.00Kw	64.4A	KDI-1000	18.50Kw	86.0A
機名	※KID-の後に付く数字が一日の処理可能量（単位：kg/日）																					
KDI- 50	2.20kw	10.4A																				
KDI- 100	3.70Kw	16.6A																				
KDI- 200	5.50Kw	24.4A																				
KDI- 300	7.50Kw	33.5A																				
KDI- 500	15.00Kw	64.4A																				
KDI-1000	18.50Kw	86.0A																				
設置場所	屋内 ※屋外設置の場合は雨よげが必要 ※温度条件：常温での使用																					
オプション	寒冷地仕様、排気ファン、消臭液装置 上部カバー、安全柵&扉、吸気装置（上部温風装置） 残渣投入装置																					

イニシャルコスト・ランニングコスト

1t用消滅型残渣装置 コスト一覧			
①	攪拌機本体のみ	20,000,000 円 ÷ 7年 ÷ 12ヶ月 =	238,095 円
②	1ヶ月の電気代	24H*30/60*17,2kw*25 円/kwh*30 日	154,800 円
③	菌床(初回のみ)	300,000 円 ÷ 7年 ÷ 12ヶ月 =	35,714 円
④	バイオ菌体	月30t 処理で	60,000 円
⑤	1t 当たりの処理コスト	488,609 円(①～④) ÷ 30t =	16,287 円
<p>※ 投入装置・消臭装置・等のオプション及び 据付・メンテナンス は含んでおりません。</p> <p>※ 電気代金は、御社が電力会社と契約している電気料金により多少の変動があります。</p> <p>※ 消費税は含んでおりません。</p>			

製造元

TEG 株式会社

〒503-0986 岐阜県大垣市中曾根町 698 番地 2

TEL:0584-92-1517 FAX:0584-92-2272